



民法 正則 議員

町民盆踊り大会の開催検討を

A 実行委員会のような組織が主体的に運営、開催するといったことになれば、町としてどのような支援ができるのかを検討したい。(三村町長)

Q1 この夏も自治会によつては盆踊りが行われ、かなり盛り上がりがあったと聞いている。
盆踊りのない地区住民からは、町として盆踊りができないかという要望を聞く。
各自治会の日程を考慮して、お盆に町民盆踊り大会を開催していただきたい。

A1 町内一円を対象とした盆踊りがないことを惜しむ声、帰省を機に友人等と旧交を温められるような故郷のイベントを懐かしむ声も聞いている。
今後、町民盆踊り大会などの開催に向けた機運が高まり、実行委員会のような組織が主体的に運営、開催するといったことになれば、町として、どのような支援ができるのかを検討していきたい。

Q2 町民盆踊り大会を開催するに当たっては、町としてどの程度支援ができるのか。

A2 町全体を巻き込んだ大きな祭りとなると、核となる団体を中心に実行委員会を組織していただき、実行委員会から出された事業計画や予算等を精査した上で、町としてどのような支援、協力が可能かを検討する。

Q3 例えば8月15日に町民グラウンドで開催するとした場合、どのような問題が起こり得ると考えるか。

A3 やぐら、提灯等の購入のための初期投資とそれらを保管する倉庫等が必要である。
また、町民グラウンドの近隣住民への配慮も必要である。



沖田 ゆかり 議員

プール開放実施期間の拡大を

A 学校及びPTAの意見も参考にし検討する。(民法教育部長)

Q1 プールの監視員について、高校生以上の募集になった経緯は。

A1 人員確保の面から募集した。

Q2 保護者の中には、「高校生にアルバイトをさせるのは不安である。」という声もあるが。

A2 町が雇用した監視員3名を各プールに配置している。

Q3 監視員3名を配置していることを周知すれば面接に来る人も増えたのではないかと。

A3 高校生は、原則アルバイトが禁止である。
そのため、アルバイトをするには、保護者と高校の同意があるので、少なかつたと理解している。

Q4 監視員の募集を、町から熊野高校に依頼をしたと聞いているが。

A4 依頼したのは事実だが、現実には応募者は少なかった。

Q5 熊野高校の行事があった日に面接日があったからではないか。

A5 チラシ作成段階では、高校の行事まで把握していなかった。

Q6 他の市町では、8月20日頃までプールを開放しているので、本町でも検討して頂きたい。

A6 今年は、4校全てのプールを毎日開放するだけの監視員を確保できなかった。
来年は、幅広く募集をかけ、毎日プール開放ができるよう努力する。



小・中学校の児童生徒の自転車マナー向上

A 安全指導の強化と通行ルールの周知徹底を推進していく。(民法教育部長)

Q1 危険な行為を繰り返す自転車運転者に講習の受講を義務づける「改正道路交通法」の施行に伴っての指導は行っているのか。

A1 5月に小・中学校で、交通安全教室を行い海田警察から改正点の指導をいただいた。

Q2 5月に行った教室で徹底できているのか。

A2 中学校の自転車マナーは大きく変わっていない。校長会で自転車通学も含め交通安全の実施をお願いした。

Q3 町内児童、生徒の自転車事故は。

A3 今年度、5件の事故が発生している。
子どもが大きな怪我をしたとは聞いてない。

Q4 事故に対しどのような指導したのか。

A4 先生に対し、口頭で安全指導をお願いした。

Q5 今回の改正法では、危険運転で3年以内に2回以上検挙された14歳以上の運転者に、安全講習の受講、3時間5700円を義務化するとのこと。

A5 中学生には、早急に改正法の周知に努め、自転車マナーの向上を図っていくべきだと思うがその点についてはどうか。
中学生には、早急に改正法の周知に努め、自転車マナーの向上を図っていくべきだと思うがその点についてはどうか。

A5 重ねて学校には指導し、マナーの向上について呼びかけていく。

熊野町独自の取り組みである小学校低学年の書道科

A 教育の町熊野町の取り組みとして広く町外へアピールしていく。(三村町長・林教育長)

Q1 PPG[※]という極めてユニークな取り組みが、絶大な成果を上げている。
教育の町としてPRを図り、子育て世代夫婦の移住促進による定住人口の増加を考えているか。

A1 学校現場で、この取り組みによる教育効果が評価を得ている。定住促進効果についても、このようなソフト事業とハード面からの多様な取り組みが成果として表れるものと考えており、一層充実したものと成るよう配慮する。

Q2 書道科の授業の中で、先生が後片付けをしている。時間が足りないとはいえず、何の道においても、始めと終わりは非常に重要だと思つた。

A2 教育課程外で年間15時間の書写に取り組むということであり、少しでも多く実技指導をさせたい。

Q3 町民にこの素晴らしい取り組みをどのようにPRしているのか。
またDVDも作成されているがどのように活用しているか。

A3 ホームページやフェースブックなどにより、動画配信し、閲覧いただいている。
就学時前、学校の公開、開放授業を行っている。
また、DVDに関しては、24年に350本作製し、県内外への視察時や書道科のある大学、県内教育委員会などに配布している。

※「PPG」とは
ⓐ 足はベッタン床の上
ⓑ 腰骨をピンと立てる
ⓒ 椅子と机の間グー一つ